

聖家族の祝日の説教

金 大烈 神父 2008年12月28日(日)

《聖家族の条件は 家族全員が、あらゆる全ての軸を神様におくことです》

お早うございます。

降誕祭に来られなかった方もいらっしゃるでしょう。おめでとうございます。

また今日は日本語、韓国語、英語と3回のミサがあり、今日一日中、ホール等でブラジルやペルーの方々が、経済的に弱い人々の為の援助として慈善バザーをしています。このミサは主に日本人が参加していますが、ベトナムの方々、インドネシアの青年達、その他の国々の方もいらっしゃいます。この聖家族の祝日のミサの意味について黙想が出来るように願います。

さあ、"聖家族"とはどういうものでしょうか。"聖家族"の模範になっている、そのモデルになっている家族とは、どういう家族をいうのでしょうか。そうです、聖ヨゼフ、聖マリア、そしてイエス・キリストです。その三人の素晴らしい組合せが出来ているので"聖家族"というのでしょうか。いいえ、そうではありません。

"聖家族の条件"は只一つしかありません。家族全員が、あらゆる全ての軸を神様におくことです。聖ヨゼフも同じです、聖マリアも同じでした。そして私達が信じているイエス・キリストも最後まで御父のみ旨に従いました。全ての事を"委ねている、委ねられる"その様な家族を聖家族と呼びます。

この聖家族の日を迎えて少しだけお願いしたい事があります。"聖家族への希望"が少しでもあったら、それには必要な事があります。その家族の中で必ず誰かが、祈りを手放さない様に、少なくとも一人はいつも家族の為に祈る人がいる事が必要です。皆様の中で、「この頃、息子が道からそれてしまっている」「子供が問題を起こしている」「夫が問題を起こしています」「妻が変です」と私の元に相談に来られる方々が相変わらずいます。私は「あなたの祈りがあれば、彼等は必ず"自分の席"に戻ります」と答えています。聖家族の一番の素晴らしさはやはり"祈り"です。

皆様の家族はどうでしょうか。もし3人家族だったら、その3人が祈り合っていれば、それは言葉どおりに"聖家族"になります。しかしバラバラになって、お父さんはお父さん、お母さんはお母さん、息子は息子、娘は娘。"家族"という名の下に住んでいながら、別々の世界に生きている家庭をよく見うけます。

今日のこのミサを、皆様の"本当の家族"の為に捧げる心をお持ち下さい。そして、もし自分の中に間違えた事が有る事を悟れば、このミサの中で一番素晴らしい恵を頂いた事になると思います。皆様、祈って下さい。皆様の家族の為に、家庭の為に。独身の方もご両親や兄弟の為に。家族がいない人はこの世の中にはいません。

その家族についてよく考えてみて下さい。他人の様に生きて来たのではないか、つまらない誤解をしているのではないか、その様な事をよく思い出して見て下さい。そうすれば、自分がどの様な立場であるのかが現れると思います。

さあ、2番目、大きな意味では私達も家族です。一番大きな意味では、人類全部が家族かも知れません。とにかく私達は日曜日、週に1回は係わっています。私達はキリストに結ばれ、絆を作っています。キリストによって同じ"家族"という名を使えます。さあ、皆様、私達が教会に来て共同体の皆様と出会う時、自分の兄弟に対して持つべき心をもってお互いに接しているかどうか、もう一度考えてみて下さい。一年が殆ど終わっています。そして何日か後に新しい年を迎えるのですが、この時期は出来るだけ、沢山でも構いませんが"反省"が中心になっている期間となって欲しいと思います。

皆様、私達は家族です。ですから家族に相応しい態度を見せよう、相応しい心を見せようという姿

勢が無かったら、私達はうそをついている事になってしまいます。私達は家族です。 家族らしく生きましょう。そして誰か困っている人がいるならば、その人に何とか手を伸ばそうとする心を忘れない様をお願いします。

これから皆様に時間を差し上げます。ものすごく短い時間ですが、皆様はとても永く感じるでしょう。3分間差し上げます。まずご自分の家族一人一人を思い出して下さい。思い出したらその一人一人の為にイエス様に本当に心を込めて祈って頂きます。

(3分間それぞれその家族の為に祈る.)

予想と違い、殆どの方が時間が足りなかったのではないのでしょうか。家族の事を祈るには足りません。1日この3分位の時間を家族の為に私達は作らなければならないと思います。しかし大体の人々は出来ていません。

この世の中で一番温かい言葉、それは "家族" ではないかと思います。この世の中がこの様にめちゃくちゃになっている基本的な理由は、家庭が崩れている世界だからです。どの国をみても家庭が崩れています。親が親として見られない。子供が親を認めてくれない。親が子供を怖がっている。それは、家族である前に人間ではありません。人間の社会ではありません。

皆様、カトリック信者として、キリストの生活、聖家族の模範に従う私達の心が、どんな場合も、困難があっても強められるよう祈りましょう。

ありがとうございました。